

沖縄セルラー電話株式会社 様



【企業プロフィール】 (注：企業データは2013年3月末時点)

- 設立 1991年設立
- 本社所在地 沖縄県那覇市
- 資本金 14億1458万円
- 業務内容 ・電気通信事業 ・携帯電話サービス/インターネットの提供
- 年商 504億3800万円
- 社員数 160名
- 導入時期 2013年7月：POWER EGG2.0 Ver2.5 導入
- 稼働ライセンス数 沖縄セルラー本社、および2013年10月半ばに新社屋へ移転・合流する子会社の沖縄通信ネットワーク株式会社（以下、OTNet）を合わせ下記機能を各500ライセンス。（ベースシステム/グループウェア/ファイル管理/汎用申請ワークフロー/Webデータベース/S D K /スマホ対応オプション）

人事システムリリース完了、新社屋移転を契機に《基幹システム連携》《ワークフロー活用》《スマホ対応》などを実現できる新グループウェアとしてPOWER EGGを採用。

今回取材にご協力いただいた沖縄セルラー電話株式会社様の創業は1991年。KDDIの連結子会社であり、沖縄県内で携帯電話事業を行う地域会社（大阪証券取引所JASDAQ上場）です。《au》のブランドで知名度が高く沖縄県の携帯電話事業でシェア首位を誇り、更にインターネットサービスの展開で業績が拡大中です。沖縄セルラー電話様がPOWER EGGを導入したのはつい最近のことで、稼働開始は2013年7月1日からです。その導入のきっかけは使用していた人事システムがリリース満了となり、そしてちょうど同時期に那覇市松山への新社屋移転が実施されたことです。2011年末頃から新たなグループウェアのリプレイス・新規導入検討が開始され、2012年12月、株式会社沖縄富士通システムエンジニアリング様がコンサルティングサポートする形で、この導入プロジェクトが本格的にスタートしました。

▼ 取材ご協力者



- (右から順に)
- 総務部 情報システムグループリーダー 課長/新田 昇 氏
 - 人事部 人事部長 理事/渡具知 武之 氏
 - 人事部 人事・労務厚生グループ 課長補佐/野尻 哲 氏
 - 総務部 総務グループ 課長補佐/平地 弘晃 氏
 - 総務部 情報システムグループ 課長補佐/渡口 彦幸 氏
 - 総務部 情報システムグループ 兼 業務統括部 業務管理グループ 課長補佐/小渡 善市 氏

選定ポイント

一 要求機能に関する《総合力》で導入決定！

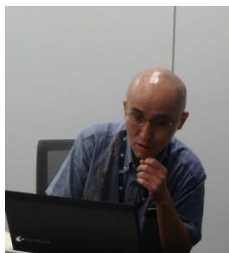
2012年12月から始まった本格的な導入検討においては様々な製品の中から4製品が対象となり、最終的にはA社製品、B社製品、POWER EGGの3製品が残された。この中でもPOWEREGGが選ばれたのには

- ◎ ワークフローが使える
 - ◎ アシストメッセージで情報のやり取りができる
 - ◎ 「やるべき仕事」がポータルから消えていくのは分かりやすい
 - ◎ スマホ対応、メール連携は便利そう
- といった点が評価されたようだ。

沖縄富士通システムエンジニアリング社の提案内容、導入スケジュール設定も非常に具体的かつ現実的で、導入支援はスムーズに進んだと言う。そして2013年7月1日、POWER EGGは順調に稼働を開始した。10月半ばからは子会社OTNetも新社屋へ移転・合流し、全500ライセンスがフル稼働を開始する。

総務グループ 平地課長補佐 「グループウェア単体で見ると他にも魅力的な製品はありました。しかし今回のリプレイスはグループウェア単体としてではなく、《人事システムや就業管理システムとの連携》《ワークフローの活用/ペーパーレス化推進》や携帯電話会社らしく《モバイル連携》がどれだけ使いこなせるのか、などが求められました。

そうした点での提案内容、製品機能そして今後の期待値などの《総合力》ではPOWER EGGがわれわれの要求事項を満たしていました。つまり《機能性》対《見た目》の戦いで、6対4でPOWER EGGの勝ちということですね」



連携により情報共有・利活用の促進を。『基幹システム連携』そして『スマホ連携』

情報システムグループリーダー 新田課長 「導入検討を開始したのは、人事システムのリリース完了によるリプレイスの問題が生じた頃からです。そこで新社屋移転を契機として『従来の携帯電話ではなく、携帯電話会社らしくスマホに対応できるシステムにしたいね』『以前のグループウェアならできないこと、例えば基幹システムと連携したりワークフローも使えるようにしたい』などといった視点で検討が始まりました」

非常に綿密な準備の下プロジェクトが進み、人事システム連携とそれに伴うペーパーレス化推進に対応できる《グループウェア&ワークフロー》型システムとしてPOWER EGGが選ばれた。それでは具体的にどのような連携が実施されているのだろうか？一例をご紹介します。

一 人事システムとの連携

これはWebデータベースの機能を活用して行われている。人事システムより個人人材情報（現在・履歴・実績）をWebデータベースに取り込み、配下社員についての情報をアクセス権限のある人（所属長など）が見られるようにするしくみである。所属長が部下の履歴を見たいとき、例えば「どの部署でどれくらいの期間過ごしてきたのか」といった、ここ数年の「異動履歴」や「評価実績」などを見たいときに役立つ。

人事部長 渡具知理事 「従来の人事システムでは書類はすべてペーパーで処理していました。それを今回のグループウェア入れ替えにより、基幹の人事システムと連携しワークフローを活用して、業務の効率化およびペーパーレス化が図れないだろうか、と。こうした要望を前提として沖縄富士通システムエンジニアリング社からの提案を受け、最終的にPOWER EGGの選定に至ったという経緯があります。グループウェア～基幹システム連携～ワークフロー活用という流れですね。」

一 就業（勤怠）管理システムとワークフローの連携

就業管理システムと連携のしくみを作ること、今まで紙ベースでやっていたものがすべてペーパーレス化された。POWER EGG で入力した情報は汎用申請ワークフローで就業管理システムと連携。ユーザーからすると日々の勤務実績（勤怠管理）の申請関係がほとんど（16申請）POWER EGGで出来る。例えばPOWER EGGのワークフローで休暇申請を出したら、その情報が就業管理システムに流れて来るのだ。

一 就業（勤怠）管理システムとスケジュールの連携

逆に就業管理システムの方から「打刻」の状況をグループウェア（スケジュール）に反映することも行われている。就業管理システムから勤務予定と勤務実績のデータがPOWER EGG に流れスケジュールに反映され、部署によってシフト勤務が異なるが、「この人が来ている、来ていない」がすぐ分かる。つまり出勤証明になるのだ。

《就業管理システム》 《POWER EGGスケジュール》



情報システムグループ 小渡課長補佐 「今回、勤怠申請の残業届や休日届けなどの処理のワークフローをグループウェア側で実現しているというのが、すごく良いなと思う点です。システムの選定を検討している段階で、『勤怠ワークフローは就業管理システムで、その他のワークフローは他のグループウェアで』などと説明を受けており、そういうものなのかと思っていたが違ったんですね。POWER EGG 側のワークフローでもって就業管理システムを実現している、つまり勤怠に特化したワークフローではなく、いろんな稟議申請とか汎用申請などのワークフローも一緒に1つの画面からできるのがとても使いやすい。このやり方だと、今後ワークフローを増やす予定ですが、勤怠ワークフローとか稟議ワークフローとかに分けなくて済みますからね」

一 《スマートフォン連携》により決裁スピードアップ

スマホ連携は社員全員が対象である。もともと従来型だった業務用携帯をスマホに変えるにあたって、このスマホ連携は必須条件となった。



人事部長 渡具知理事 「出先でワークフローの承認がスマホでできること。これは部長まで全員が要求されます。また営業関係の承認が外出先でできることは、営業担当にとって非常に便利です。自席にいられない場合はスマホで承認して「時間外」を認めるとか、外出先でのスケジュール入力をその場でできますから。Webメールについては、サイバーメール連携も行っています。」

“遊び心”のある 『人にやさしい』システムを目指して。

新たに導入されたこのPOWER EGG、沖縄セルラー電話様では(synCa (シンカ))という愛称で呼ばれている。沖縄の言葉で『シンカ』は『なかまたち』を意味している。《synCa》は、ワークフローも組み込まれて同調（シンクロ）でき、また「進化」するグループウェアでもある。

一 “遊び心”溢れる在席管理システムを。

《synCa》ではPOWER EGGに『コミュニケーション活性化の知恵』をプラスして楽しみながら使いこなしている。標準の在席管理は『いま在席です』『外出中です』

などを人型のアイコンで表示する。しかし、それでは用は為すまいかにも事務的で味気ない。そこで平地さんたちはPOWER EGG標準アイコンの代わりに自社キャラクター《auシカ》の仲間たちのアイコンを活用することにした。沖縄セルラーのキャラクターは、《auシカ》。全国のauにはない、沖縄独自のキャラクターである。このキャラクターに、沖縄の特産品を加えた40種類以上の素材をモバイルサイトで配布している。これらのアイコンを活かして平地さんたちは、単に「席にいる／いない」でなく《各人のその日の気分》を表現することを思いついたのである。

総務グループ 平地課長補佐

「業務ツールですから、内容を見てそれで処理が終わればよし、というものだけがそれだけだとホントに味気ない。本来顔と顔を合わせてコミュニケーションするべきなのに、グループウェアはそうしないで済む分実務的だが無味乾燥で、それだと『コミュニケーションの活性化』という目標に逆行します。そこで少しでもこうした『遊びの要素』を加味してコミュニケーションが豊かになることを願っています。」

POWER EGG導入後の評価と効果は？ 次のステップに向けて、《synCa》は更に進化する。

一 アシストメッセージでやるべき仕事に気づける

情報システムグループ 渡口課長補佐 「アシストメッセージを活用して仕事を進める、という新しいスタイルが定着しつつありますね。アシストメッセージを見ながら、自分に与えられている課題が何かを確認するという新しい習慣が生まれています。だから『社内の気づき』という意味では期待以上に効果が出ています。『ここを空にするんですよ』と。これをきちんとやっている、仕事の片付き感が分かります。『これを早くやらなきゃ』と、synCaを立ち上げて今まで以上にしっかりチェックしなきゃという感じになっています」

一 横断検索機能で求める情報を簡単に検索

情報システムグループ 小渡課長 「『横断検索』という機能がとても便利。スケジュール、掲示板、ファイル管理の中から1つのキーワードで検索すると対応するコンテンツが出てくる。例えば人事異動があった時、辞令情報を見たいとすると「人事異動」というキーワードで見つけられるから助かっています」

【POWER EGG 導入効果まとめ】

- ◆ **仕事の進め方の変革**
 - ・基幹システム連携やワークフロー活用
 - ・スマホ連携により出先からの決済によるスピードアップ
- ◆ **ペーパーレス化**
 - ・ワークフロー利用によりペーパーレス化（勤怠申請16種）
- ◆ **見える化**
 - ・アシストメッセージでやるべき仕事に気づける
 - ・就業システムとの連携により、社員の出勤状況が把握可能
- ◆ **情報の検索**
 - ・横断検索機能で求める情報を簡単に検索

まだ稼働が始まったばかりの《synCa》だが、そのネーミングが意味する《なかまたちの情報共有・利活用システム》として、経営目標・組織目標の実現と同時に『人にやさしいシステム』を目指している。

アイコンを活用した独特で楽しい在席管理システムのように、これからも“遊び心”に満ちたユニークでユーザーフレンドリーなシステムの具現化が期待できそうである。

ディサークル株式会社
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-36-1
住友不動産千代田ファーストウイング
TEL:03-3514-6060 FAX:03-3514-6069
<http://www.d-circle.com/>

※POWER EGGはディサークル株式会社の登録商標です。
※その他記載されている会社名、製品名およびサービス名等は各社の登録商標または商標です。
※本事例に記載された情報は初掲載時のものであり、閲覧される時点では変更されている可能性があります。あらかじめご了承ください。

取り扱いパートナー